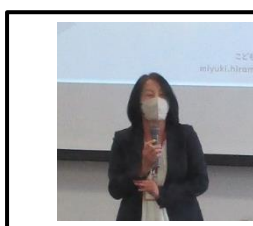


## 第3回 赤磐市幼児教育推進合同研修会

### 「保育の転換期！「共主体」の保育を目指して」

講師：姫路大学 教育学部 こども未来学科  
教授 平松 美由紀 先生

令和7年1月10日に赤磐市中央図書館、多目的ホールに於いて幼児教育推進合同研修会が行われました。赤磐市内の保育園・こども園・幼稚園の経験年数が5年目程度の若手職員が集い、園の垣根を越えての交流、自身の振り返り、保育職について考える時間をもてた研修会でした。



#### 本日のキーワード

子どもたちの未来と  
皆さんの未来と



#### ① 自己紹介ゲーム（目玉焼きに何かける？）



普段、「先生」と呼ばれているので、この時間は、ニックネームで紹介することに…。「せ〜の。」のかけ声の後には、目玉焼きに何をかけるかを言い合います。「塩コショウ」「しょうゆ」「マヨネーズ」など色々な調味料が聞こえてきました。同じだった時の先生方の笑顔は、最高でした！他園の先生方と一瞬で仲良くなれ、緊張していた心がほぐれ、グループワークでも話ははずんでいました。

#### ② 2024年4月からの自分を振り返って

・4月の自分、8月頃の自分をワークシートに記入しました。そして1年前からバージョンアップしたところと、なぜそう思ったのかを考えました。

参加された先生方からは、「4月からバージョンアップしたことはあるが、立ち止まって考えたことはなかった。自分の弱みが強みに変わっていることに気づくことができた。」「あらためて、自分を振り返る機会をいただき、この仕事は自分をバージョンアップすることができる素晴らしい職であると感じた。」などの話がでていました。自分を振り返ることで成長できていると感じたり、自信につながったりし、さらに頑張ろうという気持ちになっている先生方の姿が見られました。

#### ③ 保育職について考える

・「何のために関わるのか。何を大切にしながら関わるのか。」という平松先生からの問いかけに真剣な表情で自分自身を振り返る姿が見られました。

「何のために関わるのか、何を大切にしながら関わるのか意識しながら日々子どもたちに関わり、自分の姿を子どもたちが見ていることをいつも意識して生活しようと思った。」という声がたくさん聞こえてきました。日々のなげない行動一つ一つが子どもたちに影響を与えているということを自覚しながら、言葉選びや行動を考え、子どもたちのよいモデルとして生活していきたいという気持ちが伝わってきました。

今回は、経験年数5年程度の先生方に「自分自身の振り返り」をしていただく機会をもていただきました。自分の成長に気づいたり、子どもへの関わり方を振り返ったりすることで、あらためて保育職の専門性、やりがいや素晴らしさを感じることができていました。また、子どもたちの40年後を思いながら保育ができるよう、何を大切に関わっていくか、まさに子どもたちの未来を見据えた保育について考えることもできました。園の垣根を超えて、自分の思いや考えが話せ、前向きな気持ちになって帰っていける先生方に、赤磐市の保育の輝かしい未来が見えたような気持ちになりました。